

令和 5 年度 実施計画調書

担当部 教育委員会

担当課 生涯学習課

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策分野	青少年健全育成

<input type="checkbox"/> デジタル田園都市
<input type="checkbox"/> ゼロカーボンシティ

事業名	少年の主張茨城県大会実施事業
-----	----------------

予算科目				部内の優先順位
一般会計	10 款	5 項	3 目	-

事業の全体像	
①現状（今、どのような課題があるか）	<p>運営団体を構成する青少年育成常総市民会議や常総市相談委員会をはじめとする青少年健全育成組織は、コロナ禍によりイベントが開催できなくなったり内容が縮小することが多数にのぼり、活動の機会の減少に伴う活力の喪失が顕著である。</p> <p>また、少年の主張大会については、市大会としても実施しており、コロナ禍前は数百名以上の来場者の前で中学生が自分の考えを発表するなど、参加者や市民の方にご好評をいただいている事業である。</p>
②対象（誰を・何を対象とするか）	<p>運営団体である少年の主張大会実行委員会および参加者として想定している市内の中学校に在籍する生徒を対象とする</p>
③理想（最終的に、現状や対象をどのような状態にしたいのか）	<p>本事業について、大規模イベントの実施という実績を経験することにより、構成団体のコロナ禍での活動減少を食い止める契機となることを狙い、また、経験のフィードバックによる市大会の更なる充実を通して、継続的な運営団体の活性化を図る。</p> <p>さらに、市大会の充実等を通じた発表の質の向上を更に進め、県の上部団体である国立青少年教育振興機構で主催する少年の主張全国大会への出場を目指す</p>
④手段（どのような活動・取組みを行い理想に近づけるのか）	<p>今回の大会実施は上部団体の茨城県青少年育成協会と運営団体とが一緒に作り上げる大会であり、そこで得た経験を検証・反映することにより、全県的にも例のない実行委員会方式で実施している常総市少年の主張大会について更なる充実を図っていただく。</p> <p>また、市全体の経験値の蓄積により発表の質を向上し、少年の主張茨城県大会への出場者の増を目指す</p>

成果指標				
指標名				単位
少年の主張茨城県大会における発表者選出の3か年平均人数				人
現在値	目標値			
令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標値
0.33	0.66	1.00	1.00	1.00

令和 5 年度	事業内容	令和 6 年度	事業内容	令和 7 年度	事業内容
	少年の主張茨城県大会開催 1回 (経費) 少年の主張大会補助金 550,000円		-		-
予算額	550 千円	予算額	千円	予算額	千円
特定財源	0 千円	特定財源	千円	特定財源	千円
一般財源	550 千円	一般財源	0 千円	一般財源	0 千円

備考	
----	--